

登別漁港を中心とした目指すべきまちづくり計画として『登別・白老(虎杖浜) 地域マリナビジョン』が平成17年度に策定されました。今年度も、地場水産物の地産地消の推進や観光との相乗効果の実現に向けて、地元水産品の直販を行う『登別海鮮直市』や道内外の観光客に地域資源をPRして誘客拡大を図る『紅葉の地獄谷ウォーク』と登別うまいもん市、スキー修学旅行生に、地場産のスケトウダラを使用した三



▲サミット歓迎・登別温泉開湯150年として登別漁港で好評を博した『海鮮直市』

地産地消推進と観光の連携



▲登別温泉バスターミナル内で地域コンシェルジュ(ガイド・インフォメーション)を行う登別ゲートウェイセンター

若山町にあるキウシト湿原は、住宅地と道路に囲まれた約4・75haの湿原で、平成13年度には、環境省の『日本の重要湿地500』に選定されました。市では、関係機関との協議を重ね、今年度キウシト湿原を特別緑地保全地区に指定しました。同地区の指定は、胆振管内では初めてになります。指定によって、地区内で建築物の新築や改築のほか、木竹の伐採、水面の埋立てなどの行為を行う場合、登別市長の許可が必要となります。今後、市民の憩いの場や環境教育の場として、保全と活用策を図り、今年度から遊歩道などの施設整備も始めています。



▲キウシト湿原の上空写真

キウシト湿原を特別緑地保全地区に指定

平汁でもてなすイベントなどを開催し、地域の魅力をPRしました。

登別温泉地獄谷の入口にある登別パークサービスセンター横の公衆トイレが新しくなりました。この施設は、環境省が初めて登別市で行った事業で、地獄谷周辺の地熱を館内暖房に利用して二酸化炭素の抑制を図るなど、環境に配慮され



▲支笏洞爺国立公園登別園地公衆トイレ完成披露式

支笏洞爺国立公園登別園地公衆トイレを整備

市内での出来事

今年度から小中学校の大便器の洋式化と車椅子使用者用便房の設置を計画的に進めるため、鷺別小学校ほか4校の整備を行いました。また、市立図書館1階トイレの洋式化を行い、利用者への利便性の向上を図りました。

小学校などの便所の洋式化を整備

住民憩いの場 ゆめみ〜るがオープン

ているのが特徴です。

商業施設やお年寄りの集える場が少ない幌別鉄南地区に、住民が気軽に集まれる場所を提供しようと、地元町内会の有志が中心となりNPO法人『ゆめみ〜る』を設立しました。施設内では、手打ちそばや定食などを提供する地域食堂や、市場直送の新鮮な野菜や鮮魚が並ぶ朝市、子育てサロン『フレンド』、高齢者主体のふれあいいきいきサロン『てっなん』などが設けられ、市民の新たな憩いの場となっています。



▲地域住民の新たな憩いの場 ゆめみ〜る(幌別町)

問い合わせ  
情報推進  
グループ

☎85 6 5 8 6